

授業科目 言語発達障害 I

【担当教員名】 市島民子	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

言語発達障害児の評価および指導のために必要な基本的知識とその方法および技法を学習し、演習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 小児の言語障害全体を理解する
2. 言語発達障害の成因となる障害の言語・行動特徴および評価（診断）基準を学ぶ
3. 指導法と障害に即した指導方法を理解する
4. 指導の実際：1 課題に対して指導のステップを組む
5. インテークの方法および初回評価について学ぶ
6. 検査の種類と目的にあわせた使用
7. 検査演習
8. 検査結果に関する報告書作成

回数	授業計画又は学習の主題		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	小児言語障害・言語発達障害	小児の言語障害全体と関連領域	1 講義
2	精神遅滞（知的障害）		2 講義
3	精神遅滞	画像において実際を学ぶ	2 講義・画像解説
4	広汎性発達障害		2 講義
5	広汎性発達障害	画像において実際を学ぶ	2 講義・画像解説
6	指導法	指導法全体・障害別による指導法/施設紹介	3 講義・画像解説
7	指導の実際	スモールステップを組む	4 演習・まとめ
8	インテーク・初回評価		5
9	検査の種類と使用法		6
10	検査の実際	I T P A（言語学習能力診断検査）	7 解説（2コマ連続）2グループに分ける
11		I T P A（言語学習能力診断検査）	7
12		I T P A（言語学習能力診断検査）	7 演習（2コマ連続）2グループに分ける
13		I T P A（言語学習能力診断検査）	7
14		I T P A（言語学習能力診断検査）	7 演習（2コマ連続）2グループに分ける
15		I T P A（言語学習能力診断検査）	7
16	検査結果	検査結果の読み方および報告書の書き方	8 課題（提出）
17	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害 3：ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店	2001年 2400円
	I T P Aによる学習能力障害の診断と治療	三木安正・上野一彦・越智啓子共訳	日本文化科学社	2002年
その他の資料				

【評価方法】 出席、小テスト（講義） 演習課題	【履修上の留意点】
-------------------------------	-----------